

総務経済常任委員会会議記録（概要）

平成30年12月7日（金）

開 会（午前9時0分）

【議 事】

○議案第133号「所沢市指定金融機関の指定の変更について」

【補足説明】 な し

【質 疑】

城下委員

議案質疑の中で、埼玉りそな銀行から今回の輪番にあたって、増額要請があったという理解でよろしいのか。

増田出納室長

埼玉りそな銀行から追加の要請がありました。金額にして、約3,400万円の要望が出ております。

城下委員

ATMが現在は三菱UFJ銀行と合わせて2機あるが、来年の7月に三菱UFJ銀行の分が撤去されるとなると、結構不自由になるのかと思うが、増設については今後要望していくという理解でよいか。

増田出納室長

ATMの件については、2台設置されているものが1台となるわけであり、今後につきましては議決をいただきました後、できるだけよい方法を

検討していきたいと考えております。

末吉委員

議案説明の中で、現金の取り扱いに熟達している金融機関という言葉があったが、現金の取り扱いに熟達しているとか熟達していないという判断というのはあるのか。

増田出納室長

会計管理者が申し上げた、現金の取り扱いに熟達している、ということについてですが、金融機関は現金の取り扱いにたけているというか専門である、ということです。

末吉委員

現在マイナス金利であり、金融機関も非常に苦しい状況にあることから4,840万円という手数料を要求してきたということであるが、これはいつぐらいから始まっているのか。最初からこれだけの手数料が要求されていたのか。

増田出納室長

こうした要望が本年だけあったということではございません。記録では、平成24年に、三菱東京UFJ銀行から書面をもって追加要望はありました。金額にしますと、今回ほどではありませんが数千万円の要望が出ておりました、やはりバブルがはじけ、金融のバランスがとれなくなってきたころから要望が出てきているものです。

末吉委員

埼玉県内の市は、埼玉りそな銀行が指定金融機関でありほぼ同じということ、金融機関の苦しい状況もあるとは思いますが、今後は県内の他市と連携をしていくという認識でよいか。

増田出納室長

指定金融機関の手数料につきましては、県内と言わず全国でもかなり問題となっており、金融業界からは全国市長会にも手数料の要望が出されています。埼玉県につきましては、40市全市について、埼玉りそな銀行が指定金融機関を行うこととなりますので、その辺の対応につきましては全市、横の連絡を取り合って対応していきたいと考えております。

杉田委員

埼玉県の他市で、例えば川越市や越谷市などの同規模とそれ以外で、年間どれくらいの金額が現在かかっているのか。

増田出納室長

40市のうち指定金融機関に手数料を支払っている市が、現在12市あります。一番高い市では、越谷市で年間280万円です。ほかには消費税を含め108万円といった市が多く、その中で当市につきましては170万円程度ということです。

杉田委員

現在は何千万円という金額になっているところはないということだが、全市にこういった申し入れがされているということで、そういった意味では、この170万円ほどの金額というのは、来年度はこの金額で決まった

ということであり、その次の年は決まっているのか。

増田出納室長

170万円という金額につきましては、来年度は170万円でよい、と埼玉りそな銀行の確認は得ております。それ以降につきましては、県内の全市が負担するようになってから上がるという可能性があります。

末吉委員

埼玉県やさいたま市はどうか。

増田出納室長

埼玉県やさいたま市におきましては、現在、手数料の負担はありません。埼玉県やさいたま市は規模が大きいため、払うとなると通常の市よりかなり負担が大きくなるなどから、まだ負担がない状況であります。

村上委員

公金を扱うということは、それだけ低利のお金を預かることができるのでスケールメリットがある。そのために金融機関が市町村窓口でお金を預かるというわけであるが、要求している金額と手数料の差がかなり大きく開きがある。所沢市は臨時職員の賃金を所沢市の臨時職員の単価にかけているという話もあり、それはそれで理にかなっているところでもある。今後、全市的にという大きな動きがあるにしても、市としても上げるか上げないかということは相当な課題になってくるということか。

増田出納室長

ご指摘のとおりです。40市全市が埼玉りそな銀行ということもあり、

本来であれば費用対効果といたしますか、この業務に対する対価というのはもっと高いものが正しいと考えておりますが、所沢市だけが理にかなった金額を出すとなりますと、他市への影響もありますので全国的なこともあります。状況を見て対応していきたいと考えております。

村上委員

足並みはそろえていかなくではおかしなことになるということか。

増田出納室長

ご指摘のとおりです。

末吉委員

人件費について、正社員と派遣で4名の方が働いているとのことであるが、指定行が輪番でなく一つになるということだが、働かれる方については今後も変更なく業務があるということによいか。

増田出納室長

今回は1行との契約になりますので、今後はそういった面も埼玉りそな銀行と協議し、最善の方法を考えていきたいと考えております。

#### **【質疑終結】**

#### **【意見】**

杉田委員

至誠自民クラブを代表いたしまして意見を申し上げます。

質疑で、三菱UFJ銀行のATMが撤去されることがわかりました。その後においては市民の利便性を考え、なるべく手数料のかからないATMの設置などを検討することを申し添えて賛成の意見といたします。

近藤委員

自由民主党・無所属の会を代表いたしまして、賛成の意見を申し上げます。

指定金融機関の指定について、ATMの設置は要件となっております。また、現在の低金利の中で銀行の経営は非常に厳しい状況となっており、コスト削減に向けた取り組みは金融業界全体の流れとなっていることから、やむを得ないことと考えております。

**【意見終結】**

**【採 決】**

議案第133号については、全会一致、可決すべきものと決する。

休 憩（午前9時14分）

（説明員交代）

再 開（午前9時15分）

○議案第128号「平成30年度所沢市一般会計補正予算（第8号）」当

委員会所管部分（産業経済部）

【補足説明】なし

【質 疑】

村上委員

所沢の抹茶生産農家の数、生産量などを伺いたい。

三枝農業振興  
課長

抹茶の生産では、この補助事業として行うのは、3軒の農家で1団体です。そのほかに三ヶ島地区にもう1団体ありまして、そちらが11農家です。

村上委員

抹茶もいろいろと使い道があると思うが、いわゆる、抹茶の専門の茶葉をつくっている農家は、このうち何軒ぐらいなのか。つまり、高級な煎茶というようなお茶と、そうではなくケーキ用の抹茶等、いろいろレベルがあると思う。そういった高級な抹茶、専用の抹茶用の茶葉を栽培している農家というのはどれぐらいなのか。

三枝農業振興  
課長

これから抹茶は始まるので、生産団体をこれからつくろうという段階で、三ヶ島地区1団体と吾妻の地区に1団体があります。狭山市に有限会社明日香という抹茶をつくっている会社がありまして、そちらの方に確認をしましたところ、所沢市では、3軒の方が抹茶をつくるように依頼しているということです。抹茶に関しては、普通の煎茶とは作り方が違いま

すので、粉にして自分のところで売る方もいますが、加工用に使われる形でつくられる方が多いです。

村上委員

要は、今回抹茶のそういった生産をしないかと県から声をかけたところがあつて、そこについてこの補助金を出すという流れか。

三枝農業振興  
課長

そのとおりです。

杉田委員

今回、県のほうで2分の1の補助ということで、これは上限がない。そういった意味では、16万8,000円ということは、33万いくら、だと思ふ。仮に、もう1つの団体がここで補助を受けたいとなつたら、もつつけるか、ということになるわけだから、もう1つの団体は希望しなかつたとか、間に合わなかつたとか、理由があるのか。

三枝農業振興  
課長

お茶屋さんのほうに全てお声はかけさせていただき、こういうふうな補助があります、ということで募集をかけたところ、1団体の方から要望がありましたので、これに対して対応したものです。一応、枠がありますので、枠の範囲内での補助になります。逆に言うと、枠を超えてしまう額は出ませんので、仮に2団体あつたら、その中での調整となります。その中の、2分の1の補助という形になります。



杉田委員

枠はいくらか。

三枝農業振興  
課長

小規模事業のこの整備事業に関しては、75万円です。

城下委員

今言ったその75万円というのは、どういう金額なのか。県の方から示された総額なのか。整理してもう一度伺いたい。

三枝農業振興  
課長

茶・地域特産物振興総合対策事業費という一つ大きいのがあります。そちらが、441万9,000円です。その中に幾つかの補助事業項目がありまして、今回追加で募集がきたものが、茶小規模条件整備事業費補助というもので予算が75万円です。追加ですので、埼玉県内でいろいろ募集があった中で、枠がまだ残っているということで使わせていただいて、所沢市は其中で16万8,000円ということです。

城下委員

今後の考え方として、今回、抹茶用の茶葉の安定生産を図るということで、補助内容のほうに入っているので、県は抹茶の生産をふやしていくということで、こういうメニューが来ているという理解でよろしいか。

三枝農業振興

そのとおりです。

課長

**【質疑終結】**

**【意見・採決保留】**

休 憩（午前9時22分）

（説明員交代）

再 開（午前9時23分）

○議案第128号「平成30年度所沢市一般会計補正予算（第8号）」当

委員会所管部分（経営企画部）

【補足説明】なし

【質 疑】

城下委員

議案資料ナンバー1の6ページに平成30年度12月補正予算概要、国庫支出金に社会資本整備総合交付金（基地対策費）減とあるが、これと、予算書の26ページ、27ページとの説明を伺いたい。

内野企画総務

予算書10ページ歳入のほうを見ていただくとわかるかと思うのです

課長

が、社会資本整備総合交付金（基地対策費）減1,353万円が、その下の防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金の1,542万5,000円にかわったということになります。

城下委員

当初は、社会資本整備総合交付金を想定していたのか。

内野企画総務

そのとおりです。

課長

城下委員

今回は、その防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金にかわったという理解でよろしいか。

内野企画総務  
課長

そのとおりです。

城下委員

そうすると、社会資本整備総合交付金が減になった理由というのは、国の全体の社会資本整備総合交付金が足りなくなったのでこちらの方になったのか、それとも、性質上、防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金のほうが適当だという判断でかわったのか、というのはわかるか。

内野企画総務  
課長

今回、この防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金にしたので、今まで予算計上していた社会資本整備総合交付金を取り下げたという形です。

城下委員

両方要望していたのか。

内野企画総務  
課長

両方とも打診はしていたのですが、防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金は、ここで交付決定が出ましたが、社会資本整備総合交付金は1月ぐらいに交付決定が出るというものでした。先に率がよい交付決定が出たので、今回、そちらにするというものです。

城下委員

両方もらうことはできないのか。どちらか一方ということか。

内野企画総務  
課長

そのとおりです。どちらか一方になります。

**【質疑終結】**

**【意見・採決保留】**

休 憩（午前9時28分）

（説明員交代）

再 開（午前9時29分）

○議案第128号「平成30年度所沢市一般会計補正予算（第8号）」

当委員会所管部分（総務部）

【補足説明】なし

【質 疑】

杉田委員

退職ということだが、年齢や性別等、どれぐらいの年数の方なのか、理由を伺いたい。

小林危機管理  
課長

男性で、入庁5年目です。以前から転職を考えていたようで、ここで法律関係の出版会社に内定が決まったということで、退職に至ったものです。

【質疑終結】

【意見・採決保留】

休 憩（午前9時30分）

（説明員交代）

再 開（午前9時31分）

○議案第128号「平成30年度所沢市一般会計補正予算（第8号）」

当委員会所管部分（選挙管理委員会事務局）

【補足説明】なし

【質 疑】

亀山委員

期日前投票の関係はどうなったのか伺いたい。

浅野選挙管理  
委員会事務局  
次長

期日前投票については、一般質問等でも御答弁しましたとおり、市役所本庁と、東口の中央病院の中にギャラリーができましたので、そのギャラリーとの2カ所ということできさせていただきたいと思っております。ただ、前回の混雑の状況を踏まえまして、市民ホール等を活用しながら、事務機器の増設、人員の増を含めて、混雑を緩和できるような方策で考えていきたいと思っております。

亀山委員

確認だが、駐車場は市役所の中、別館の方も利用できるのか。

浅野選挙管理  
委員会事務局  
次長

別館の駐車場も利用させていただきたいと思っております。

村上委員

総務経済常任委員会では、確か、期日前投票所の増設ということで、

提言を出していたと思うが、そのあたりの検討はどうなっているのか。

今回の予算の中ではどのような検討をされているのか、伺いたい。

浅野選挙管理委員会事務局次長 平成29年2月に総務経済常任委員会から提言をいただいております。これを踏まえまして、選挙管理委員会で調査をしてみました。期日前投票所の増設に向けて、例えば所沢駅構内のトコニワ、ワルツ所沢8階のクラブオンコート、早稲田大学、日本大学芸術学部を含めて、いろいろと調査をしましたが、条件が合わないところがありまして、投票所の増設については難しいというようなことが、選挙管理委員会では議論されております。

村上委員 条件が合わないというのは、具体的にどのような条件か。

浅野選挙管理委員会事務局次長 所沢駅構内のトコニワについては、エレベーターがありません。急な階段しかないということで、移動の、アクセスの問題があります。ワルツ所沢については、レイアウト関係の問題と、予約状況がかなり混み合っているということで、選挙期間を確保するということが難しいと、また、くすのきホールについても調査しましたが、こちらも予約状況等の課題があります。早稲田大学、日本大学芸術学部については、交通の便が少し悪いところがありますので、投票所としてはふさわしくないのではないか、という議論でした。



村上委員

日本大学、早稲田大学というのは、場所がよくないということだが、今回の選挙でも、皆さんは車でいらっしゃっている。場所がよくないというのは、当たらないと思う。要は、大学には駐車場もたくさんあるわけだし、周辺の地元の人たちが投票に行く利便性というのは、この所沢とか、今回の病院のところよりも、車のアクセスとすれば、圧倒的に大学の方がよいのではないか。

浅野選挙管理  
委員会事務局  
次長

車の便は、確かに駐車場等も含めてあるのではないかと思います、駅と市役所の交通の便も含めて、利便性のあるところから比べますと、そこをふやすことによって、混雑解消に結びつくとは考えにくいという、そういうふうな理解です。

村上委員

そもそも、日本大学、早稲田大学というのは、駅が近くにないわけで、当然、そういったところに投票に行こうと思ったら車で行くわけだから、今言った利便性と言うのはあまり理由にならないのではないか。

浅野選挙管理  
委員会事務局  
次長

提言を踏まえた、選挙管理委員会の議論の中では、そういうふうな状況です。

村上委員

例えば、そういった条件でいえば、そもそも駅から近くないわけだから、投票に行く条件とすれば、車で行く人ということになるし、となれば、駐車場はある程度確保されているわけだから、投票に行こうとする人にとっては、特段の不便というふうには考えていないと思う。そのあたりのところが、ある程度検証されていけば、この2つについては、検討に値するということになるのか。

浅野選挙管理  
委員会事務局  
次長

今までの議論の中では、そのような方向性で今のところはおりますので、今後、また、議論の必要があるとすれば、検討してまいりたいと思います。

末吉委員

早稲田大学と日本大学の交通の便というのは、最初からわかっているものである。その上で相談に行ったのか。

浅野選挙管理  
委員会事務局  
次長

提言の中でも、大学構内のという提言もありました。また、他の市町村でも、大学構内で投票するという事例があるということも承知しておりますので、そのあたりも踏まえて、大学についても検討してきたところ です。

末吉委員

言っている意味はわかるが、その話だと、最初からお願いする気がないのに、提言にあるから大学に話をもちかけたというふうに聞こえるが、

いかがか。

浅野選挙管理  
委員会事務局  
次長

最初からということではなく、確認をして、どういう状況が今あるのかということ踏まえて、委員会に調査報告をしているということです。

末吉委員

この間の、議会の一般質問等を通じて、各会派から公共施設を使えないか、という要望が多々あったと思う。その点については、動いたのか。

浅野選挙管理  
委員会事務局  
次長

前回の一般質問でも、例えば、こどもと福祉の未来館という御意見がありました。そのあたりも、新しい御意見でしたので、これからまた調査をしてみたいと思います。

城下委員

この問題は、先の選挙の、有権者の投票機会をきちんと保障するという事で、多くの会派の議員から質問をし、総務経済常任委員会でも提言を出しているということでは、次の選挙では具体的に出てくるのかなと、皆がそう思っていたと思う。なかなか、前に進まないということで、現場は大変苦勞をして、審議も議論もされてきたというのは、理解しているが、どうも、東西南北といった位置づけにこだわりすぎているのではないかと感じている。そのあたりのところで、それこそ公共施設はたくさんあるわけで、時期的にもこの時期ということで限定されるものだ

から、そのあたりのところはどうなのか。東西南北で一カ所一カ所、というのが根底にあって、前に進まなかったのか。

浅野選挙管理委員会事務局次長 提言の中で東西南北ということを書いていただいたところを恐らく踏まえて、議論してきたところですが、今、御指摘のとおり市内の公共施設、先ほど申し上げました、こどもと福祉の未来館等も含めて、もしかしたら利便性もよくて、市内で行きやすいところに投票所がある可能性もあります。また、民間の施設という御意見も以前の一般質問でもありましたので、これからまた研究していかなければならないと考えております。

城下委員 当初予算は来年になるので、選挙はもう4月なので、ここでも無理だという判断ではなくて、まだ増設できるような努力はまだやっていくという理解でよろしいか。次の選挙に向けても。

浅野選挙管理委員会事務局次長 増設ということではなく、今の当面の課題としては、いかに前回のよくな混雑を解消していくか、そこを中心に、市民ホールの活用ですとか、機械の増設、人員の増も踏まえてやっていくということが現在の課題です。

村上委員 投票の機会を得られなかった、所沢市役所1階、向こうの病院もそう

だが、車の渋滞によって、建物の中に午後8時までに入った方は、投票ができた。8時までに入れなかった人の数は把握しているか。

浦山選挙管理  
委員会事務局  
長

8時までには、車を入れて投票はしていただきました。

村上委員

大渋滞で延々と並んでいる人、全部、8時前に入ったのか。

浦山選挙管理  
委員会事務局  
長

私は外に出て、ガードマンの方に言いまして、こちら側の駐車場にも入れてくれということで誘導しまして、8時前には、全部、車は入れて、中に入ったのを確認しております。

村上委員

それは、諦めて帰った人の数は入っているのか。

浦山選挙管理  
委員会事務局  
長

並んでいる途中でお帰りになった方は、把握しておりません。

村上委員

せっかく投票に来られた方が、物理的な問題で入れなかった人がいるということの重大さ、重みは感じなければならないと思う。いつから議

論しているかという、相当前に福原議員が一般質問をして、当初は増設する方向までいったわけである。なぜ、こういうふうになってしまったのかわからない。駅やワルツ所沢など、提言されたからそこだけ調査したということなのか。

浅野選挙管理委員会事務局次長      そういうことではなく、平成30年度もまた、イオン等を調査しまして、そこでは前向きな回答もいただいております。また、いろいろと研究していなければいけないと思っております。

村上委員      増設できない大きな理由は何か。

浅野選挙管理委員会事務局次長      一つは、予算がかなりかかるということもありますし、そこに配置する職員の体制、機材等の問題もあるということで、これまでも申し上げておりますが、そのような課題があるということです。

村上委員      予算は当然かかるわけで、これからますます期日前投票所の重要性と  
いうか、ニーズが高まっていく中で、きちんと運営できないということ  
になると、選挙管理委員会の姿勢の問題を問われるということになると  
思う。予算が厳しいから所沢市はやらないと説明していくのか。

浅野選挙管理      予算だけではありませんが、期日前投票の混雑を緩和していくという

委員会事務局 ことを、今、重点的に考えておりまして、そのための体制づくりを研究  
次長 しているところです。

村上委員 確認しておきたいが、期日前投票所で投票した人の、投票の権利とい  
うのは、投票当日の権利と同じということによろしいか。

浅野選挙管理 投票ということに関しては、同じだと思います。  
委員会事務局  
次長

村上委員 答弁等で、決められた日にちに行くのが投票のあり方だ、みたいな答  
弁がある。それは、同じ認識によろしいか。我々とすれば、法律が変わ  
って期日前投票という制度ができて、期日前投票所に投票に行けるとい  
う、それは当日だけではないという認識だが、そのあたりの考え方の違  
いというのは、どうか。我々の言っている感覚と、答弁の内容と、食い  
違いがあると思うか。

浅野選挙管理 投票は当日に行うということで、その期日前投票は、ある意味で例  
委員会事務局 外ということではあると思います。ただ、投票することにおいて、そう  
次長 いう制度が間違いなくありますので、それは不在者投票にしても同じで  
すが、期日前投票をする、当日投票をするということについて、そうい

う意味での差異はないものと思います。

村上委員

そういう意味で、理由があつて、期日前に投票せざるを得ない人の、投票の機会を確保していくということは、選挙管理委員会の仕事ということによろしいか。

浅野選挙管理  
委員会事務局  
次長

そのとおりです。

城下委員

いろいろ努力はされているのはわかるが、イオンでも調査したとのことで、先ほど、予算がかかる、人的配置も必要ということで、予算がかかってくるのは当然なのだが、選挙管理委員会というのは独立した部署なので、先ほども言ったように、市民の選挙権行使をしっかりと保障するという視点では、必要なことである。これからどんどん、期日前投票で投票する人はふえてくる。その権利が、結局、待っていても時間がかかるので、例えば、杖をついている方、足の不自由な方、高齢者や障害者の方が途中で断念して帰って行ったような話を私も聞いている。だからこそ、総務経済常任委員会として提言も出して、議会としてもやってきたのだけれども、そこは必要で、ここにつくりたい、というような意見の取りまとめまでいったのか。その前に断念してしまったのか。



浅野選挙管理委員会事務局次長 増設するというのではなくて、2カ所の会場をどうするかというこ  
ととか、混雑を緩和するためにどうしていくか、というふうな議論を中  
心にしております。

城下委員 そこが、違うところである。私たち議会は、ふやしなさいよ、と。委  
員会としても、他市へ視察に行ったりして同規模のところは何カ所ある、  
とか。沖縄県那覇市は人口が32万人、同規模だが8カ所ある。なぜ所  
沢市は2カ所なのか、というのはずっと思ってきて、やはり、そこであ  
る。

末吉委員 確認させていただきたい。前期の総務経済常任委員会からも提言を出  
した。議会からもさまざまな増設の要望は出ているが、その原因は混雑  
緩和だけだと言っていないと思う。どこから、混雑緩和だけという話に  
なったのかというのを、まず確認させていただきたい。市役所まで行く  
ことができない方もいると実際に言われていて、その声を私たちは聞いて  
いるからこそ、増設をしてほしいと言っているのに、どこから混雑緩  
和がメインで、ほかの課題がなくなったのか。

粕谷委員長 委員長から申し上げます。予算に対する審査ということで、この予算  
を計上するに当たって、そういうことも議論したか、というような視点

に注意してお願いします。

浅野選挙管理  
委員会事務局  
次長

まず、少なくともこの間の衆議院選の混雑状況を、そのことを解消していかなければいけないということは、確かな課題なのだというふうに認識しているところです。それに備えて、さまざまな予算を、今回の補正も含めて組ませていただいているところです。

末吉委員

確認させていただきたい。なぜ、期日前投票所が所沢市に2つしかないのかと、たくさんの市民から聞かれる。その理由として、先ほど答弁のあったように、予算の問題と、2カ所の混雑が緩和することが、最重要であると、市は認識していると、それでよろしいか。

浅野選挙管理  
委員会事務局  
次長

一つは、先ほど申し上げたようなことがあります。なかなか、安定的な施設を確保するようなことも、今のこちらで調査をした段階では、難しい状況がありました。これからもさらに調査を進めてまいりたいと思います。

**【質疑終結】**

**【意見・採決保留】**

休 憩（午前9時51分）

（説明員交代）

再 開（午前9時52分）

○議案第128号「平成30年度所沢市一般会計補正予算（第8号）」当

委員会所管部分（財務部）

【補足説明】 な し

【質 疑】

【質疑終結】

末吉委員

ふるさと応援基金の残高は、いくらか。

新井財政課長

現在の残高は、4,969万5,272円です。

城下委員

今回、3つの基金の積み立てが出ているが、所沢市の全体の基金の総額は、いくらか。

新井財政課長

特別会計分も含めて、約100億円です。

城下委員

施設整備基金だと、大体10億円を目標にして、使ったらその分を補充していくというような考え方があると思うが、今聞いたところ、全体として約100億円ということでは、基金に対する総額の目標みたいなものがあるのか。

新井財政課長

数多くの基金がありますが、一部では、定額で活用している基金もあり

ます。大きな基金といたしますと、財政調整基金になるわけですが、こちらは特にいくらというような決まりはありませんけれども、一般的には、標準財政規模、市の毎年入ってくる税などの収入の何%か、というようなことで示されております。そちらが、最低でも5%、できれば10%以上が望ましい、と言われております。現在のところ、今回積み立てをさせていただいて60億円弱になるわけですが、10%ちょっと、となっております。できればこのあたりを維持していきたいと思っております。

城下委員

地方交付税は、当初どれぐらいを見込んでいたのか。平成30年度、前年度と比較して、交付税額はどれぐらい変動があったのか、お示しいたきたい。

新井財政課長

まず、予算書10ページの地方交付税、補正前の額につきましては、普通交付税と特別交付税の合計の額です。普通交付税については、当初予算額は10億円です。前年度との比較ですが、前年度の決算の普通交付税額は13億2,177万8,000円です。こちらとの差額は約1億7,800万円のマイナスになります。主な要因としては、基準財政需要額が約2.6億円ふえました。一方、基準財政収入額がそれ以上、約6億円ふえておりまして、結果的には財源不足額が減少したことによりまして、普通交付税額が減ったというものです。

城下委員

臨時財政対策債の平成30年度の発行可能額はいくらか。

新井財政課長

補正後の額で表示しております、24億5,954万3,000円です。

城下委員

可能額とかもあると思うが、これは、丸々満額なのか。その額という  
とでよろしいか。

新井財政課長

そのとおりです。

**【質疑終結】**

**【意見・採決保留】**

休 憩（午前9時59分）

（説明員交代）

再 開（午前10時10分）

○議案第128号「平成30年度所沢市一般会計補正予算（第8号）」当

委員会所管部分

**【意見】**なし

**【採決】**

議案第128号当委員会所管部分については、全会一致、原案のとおり  
可決すべきものと決する。

○閉会中の継続審査申出の件について（特定事件）

閉会中の継続審査申出の件については、別紙のとおり申し出ることとした。

散 会（午前10時12分）

## 特定事件 常任委員会閉会中継続審査申出表

平成30年第4回（12月）定例会

### 総務経済常任委員会

- 1 国際社会（平和推進事業）について
- 2 人権尊重社会について
- 3 男女共同参画社会について
- 4 交通（交通政策）について
- 5 学校教育（私立学校）について
- 6 情報の共有と市民参加について（広報・市民参加）
- 7 行政経営について
- 8 危機管理・防災について
- 9 防犯について
- 10 財政運営について
- 11 農業・商業・工業について
- 12 観光について
- 13 労働・雇用環境について